

【研究主題】 自分の考えをもち、主体的に話し合う活動を促す授業づくりの研究

～「わかる授業」づくり5つのポイントを基盤に～

## 1 研究仮説

本校児童のよさを生かすことができるように、今年度も継続して「自分の考えをもたせる工夫」や「話し合い活動の工夫」を継続した授業を行う。その取組の過程で、自分の考えを書き、考察の根拠を明らかにして様々な立場で話し合ったり、多様な捉え方ができるようにしたりすることで、学習活動等で得た知識をつなげより深く理解し、新たな考えに気づくことができるであろう。

## 2 研究の着眼

着眼	具体的取組例
「自分の考えをもたせる」工夫 ※自分の考えを示す(書く)活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現方法を例示する(言葉・式・図)。</li> <li>○例文を示す。 ○書く視点を明確にする。</li> <li>○状況に応じて思考を表現するツールを工夫する。</li> <li>○教え合い、学び合いの場面への準備をさせる。</li> <li>○ホワイトボードや付箋等を活用する。</li> </ul>
「話し合い活動」の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合う視点を明確にする。 ○一時間の授業の中で、一人一回話す場面を設ける。</li> <li>○状況や発達段階に応じて話し合うグループを工夫する。</li> <li>○ホワイトボード等を活用し、考えの可視化をしたり、操作したりしながら話し合わせる。</li> </ul>